

安全と環境を考えるニシオの広報誌

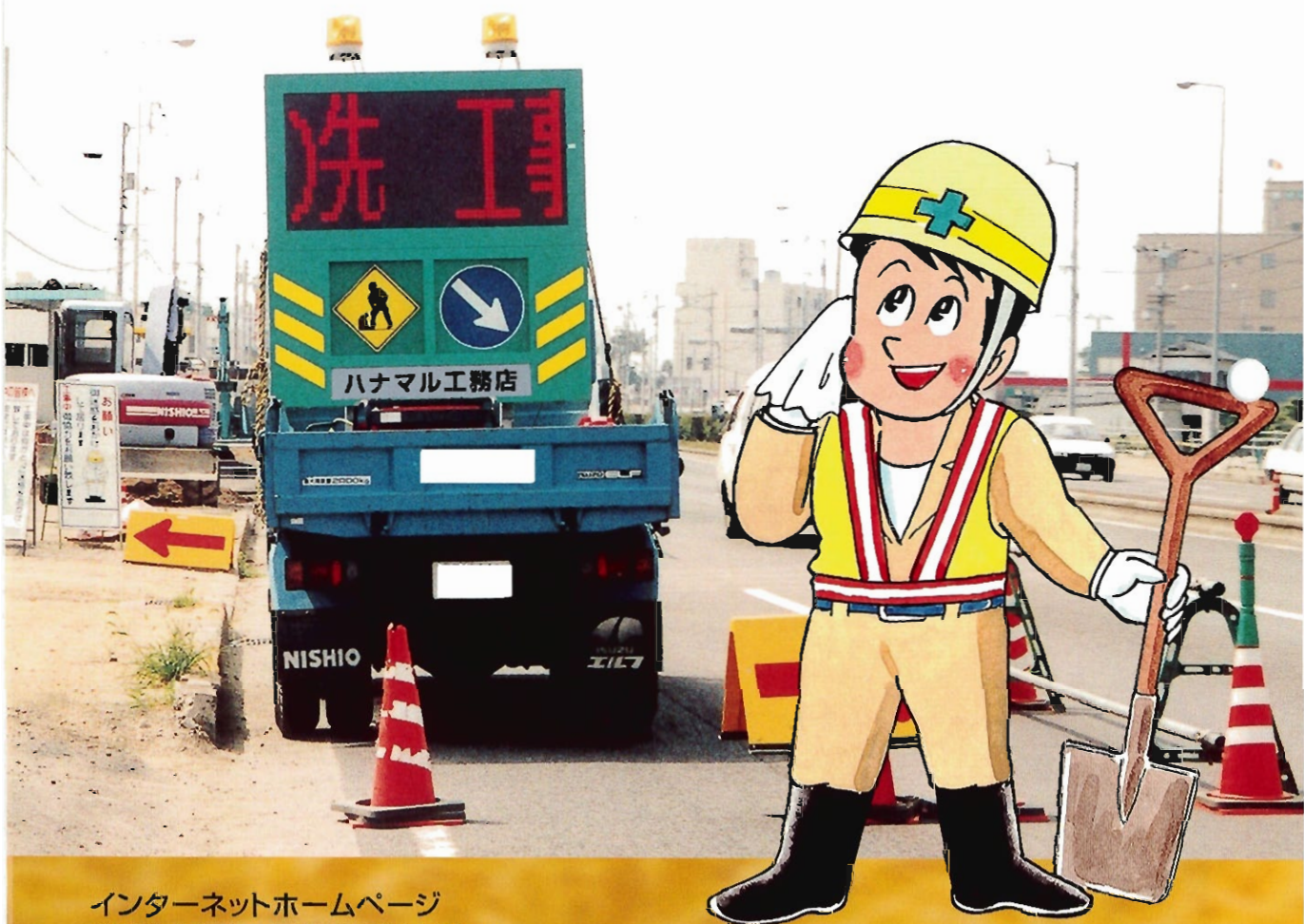
2000

Vol-4

46

安全くん

「環境・情報・イメージアップ」
これぞ現場の新たなニーズ！ の巻



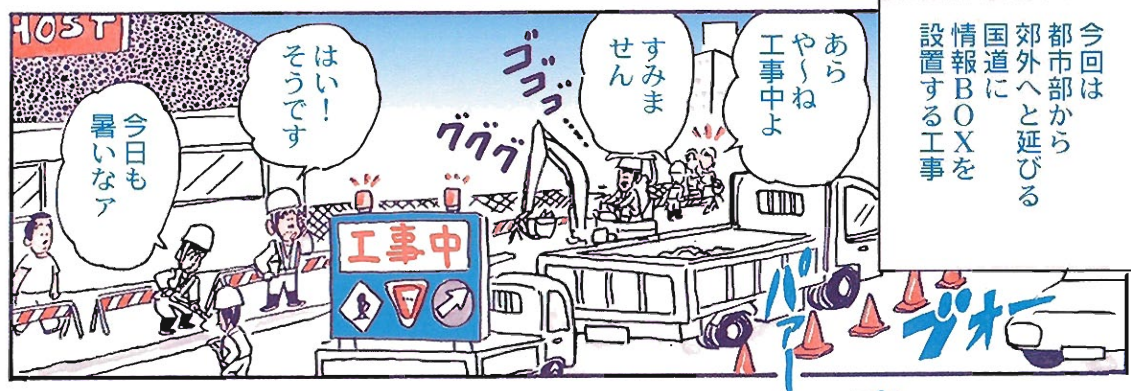
インターネットホームページ
「安全くんネット」もご覧ください。
<http://www.anzenkun.nishio-rent.co.jp/>

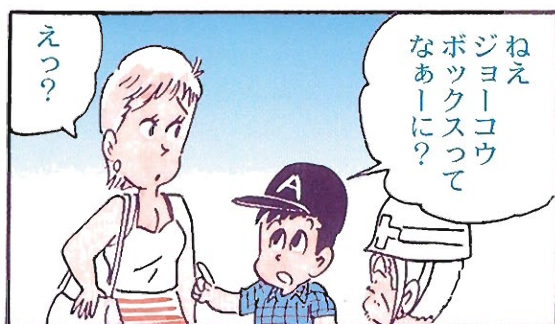
〈この広報誌は、再生紙を使用しています。〉

それ行け!! 安全くん

画 中村よしのぶ

「環境・情報・イメージアップ」
これぞ現場の
新たなニーズ! の巻





解説コーナー

「情報BOXとは？」

情報BOXは、情報ハイウェイ構想の一環として、当初道路管理用の情報通信ネットワーク整備のために光ファイバーの収容空間として設置が進んでいましたが、将来的なニーズに対応して民間でも活用できるように四条管から六条管に変更され全国的に整備されることになりました。（平成8年度より）

基本的な構造は、ボディ管を土かぶり35cm、開削幅50cmを基準に埋設するもので、ボディ管の中には6本のさや管をいれ、そこに光ファイバーが通ることになるわけです。6本のうち3本を建設省が使用し、残る3本を民間通信事業へ貸与されます。

（ボディ管の形状や内径などの仕様は各地建により異なります）なお、ケーブル布設などのための接続点は、250m間隔で設置されます。工事が進んでいる箇所では、NTTや日本テレコム、第二電電などの電気通信事業者やケーブルテレビ局などへの貸与が具体化されつつあり、地域の情報通信の高度化を支援できる状況になってきました。また、電線類地中化事業として行われている電線共同溝（C・C・BOX）は、景観保全などを目的に都市中心部の国道や街路など、路線を限定して実施されていましたが、これが整備済みの区間では情報BOXと併用することになっています。



※情報源は、建設省岡山国道工事事務所のホームページより。



解説コーナー

「イメージアップ策」って何？

現在、建設省や道路公団、あるいは自治体では公共性の高い工事についてのイメージアップを図るため、特別に予算を組み施工各社に工夫を求めています。ここでは、建設省の資料より「率計上分」を紹介します。ここには、①施工のために必要な仮設備のイメージアップ策と、②これらに加えて実施するイメージアップ策の内容が記載されています。

◆**仮設備関係**：①用水・電気等の供給設備、仮囲い、仮歩道マット、模様フェンス

②完成予想図、工法説明図、工事工程表、フラワーポット、見学路・イスの設置、パンフレット、地域行事経費

◆**安全関係**：①バリケード、転落防止柵、工事標識、照明等の安全施設のイメージアップ、電光式標識

◆**営業関係**：①現場事務所（食堂・休憩所含む）、労務者宿舎、倉庫及び材料保管庫、監督員詰所、トイレの水洗化、デザインボックス

②シャワーの設置、現場休憩所、ウォータークーラー、意見箱の設置、見学室、観葉植物、健康関連施設、備品類

確かに、バリケード1つを取って見ても、従来の黄色と黒色の配色では味気ないとして、花柄の模様やキャラクターが入っているもの、色合いも華やかになっています。また、現場のイメージアップに合わせ作業服やヘルメットについても各社工夫を凝らしはじめています。



ガンさんのワンポイントレッスン

「現場のイメージアップは、あいさつから！」

前号では、現場と地域の子供たちとのふれあいをマンガにしました。そこで、「いい話」を募集したところ、地域のみなさんとの心温まる出会いや交流のお便りが数多く届きました。

その中でも多かったのが、「あいさつ」についての内容でした。（一部は、「私は言いたい放題」のコーナーにて紹介しています。）



◆現場の側を通学する小学生たちへ「おはよう！」と

あいさつしてから、朝夕元気にあいさつしてくれるようになった。

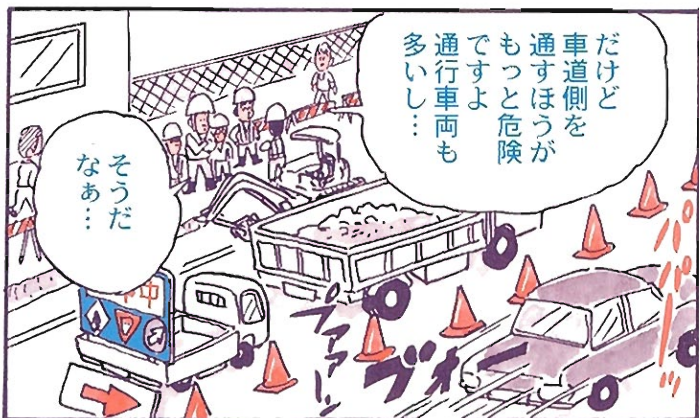
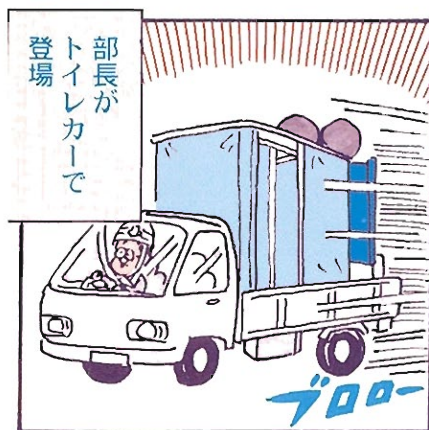
◆町内のみなさんとあいさつを交わしだしてから、いっしょに公園を掃除したり、ゴミ収集用の箱を直してあげたり、交際の輪がひろがり、工事もスムーズに進んだ。

◆元気で明るいガードマンが、丁寧にあいさつすることから通行する人々から評判になり、現場作業のやりやすくなった。

◆新規入場した現場の雰囲気がいよ。これは全員が明るい挨拶をかわしているからだ。

このように、「いい話」に数多く登場した「あいさつ」にまつわるエピソード。現在、建設業界ではイメージアップ策に力を注ぎ、安全・環境対策と同じくらいの位置付けになってきています。

上記のお話のように、よい雰囲気は人と人とのふれあいから。そして、安全作業も明るく元気の職場から。その意味で、「あいさつ」の力は本当に大きいものとなってきています。職長のみなさん、あなたが、まず心から笑顔であいさつを！あなた自身のイメージアップを図りましょう！



商品レビュー

～情報BOX工事向機材のご紹介～ ケーブル入線用ウインチ

情報BOXの外管を埋設後、ケーブルを通す際に使用するケーブル入線用の電動ウインチ。

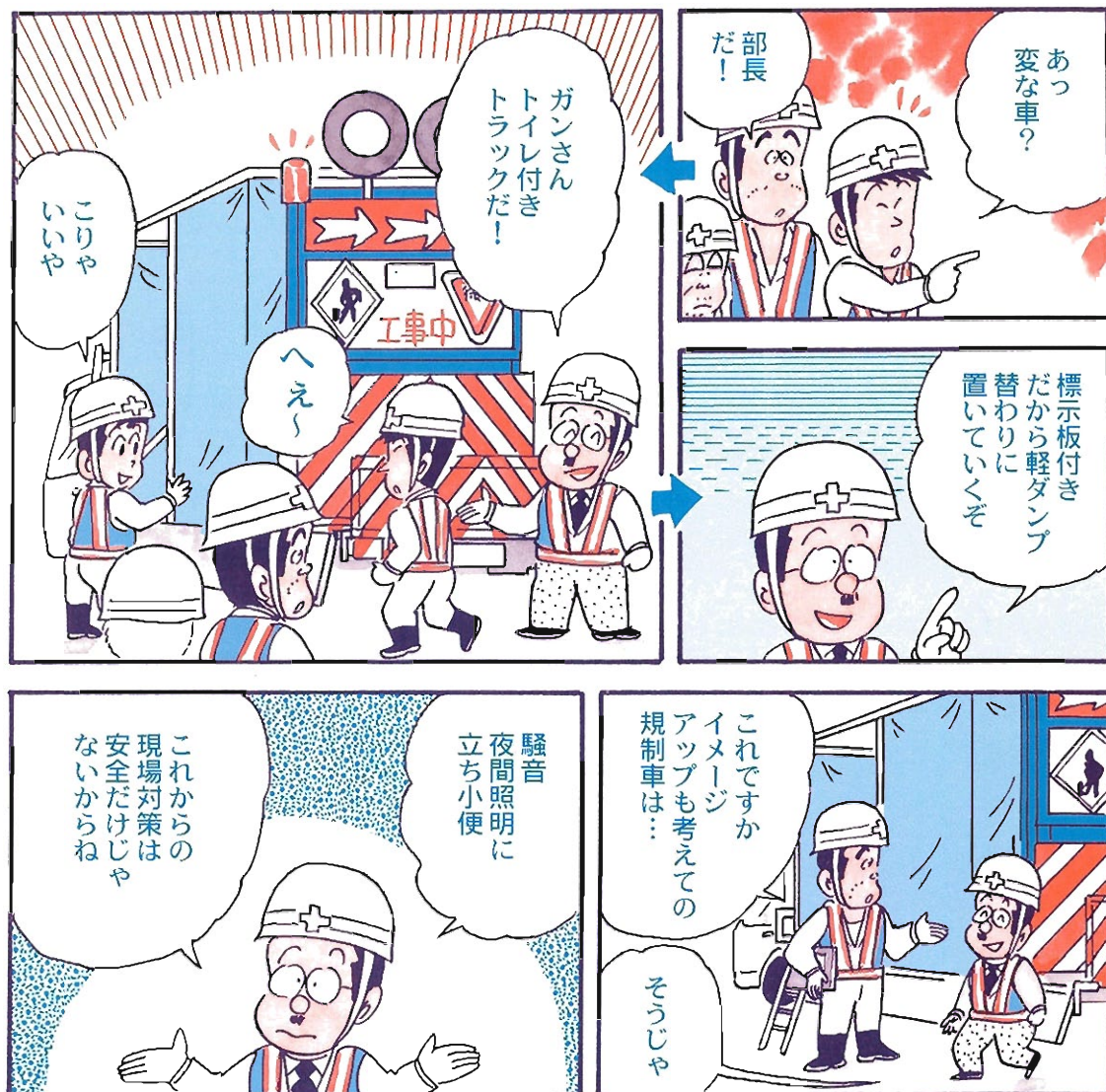
最近では工期短縮に、内管の樹脂製さや管と情報系光ファイバー線を同時に、このウインチで巻き取る方法も導入されています。

《商品特長》

- 巻き取り速度は無段変速型、ケーブル種により使い分けます。電話線は施工スピードが要求されるので高速、電力系は重量があるので巻き取り能力の高い低速。光ファイバーの場合、速度が速いと断線等問題があるので低速で使います。
- 送り出しの途中で、障害等ケーブルに抵抗が生じた場合は、停止する瞬間ロック機構付きです。巻き取り専用ですから、巻き上げ機の特別教育は該当しません。

※ニシオでは本機及び関連機器をレンタル導入しています。お気軽に最寄りの各営業所までお問い合わせ下さい。





解説コーナー

「意外に注目されていなかった夜間照明の問題」

◆労働安全衛生規則では…

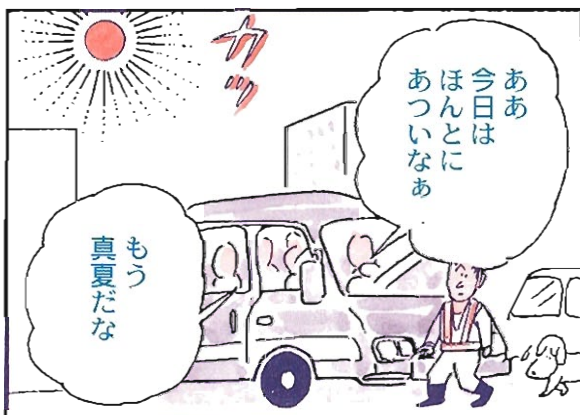
労働安全衛生規則での照明に関する条項は、第604条（照度）、第605条（採光及び照明）の2つですが、その中でも、特に夜間工事に関係する部分は、①604条では作業面での基準として「粗な作業」＝70ルクス以上（ちなみに精密作業＝300ルクス以上、普通の作業＝150ルクス以上）。②605条では、「明暗の対照が著しくなく、かつ、まぶしさを生じさせない方法によること」の、2つが該当します。

◆安全と作業能率を考えると、もっとも効果的な対策を！

限られた時間内の夜間作業では、能率と安全面から十分な照明を用意するとともに、周辺住民や通行車両に迷惑をかける照明が必要です。さらに、騒音対策も必要。そこで①移動性能が高い、②操作が簡単で安全性が高い、③まぶしさを軽減したもの、④騒音を気にしなくてもよい、さらに⑤イメージアップにもなるようなものが数多く誕生しています。これらを活用し、刻々と変わる作業の状況に応じて適正な照明装置と位置や角度の見直し、そして周辺や通行車両への影響をチェックして良い環境で作業して下さい。

◆ニシオは、照明装置の研究開発に力を注いでいます！

今や、夜間工事の定番となった「ミニテラスター」には水圧昇降式・4灯カクテル式などもラインアップ。また、重機に取り付けて360度照らすことができる「ルミエアー」は、イメージアップ対策としても有効です。これらの商品を活用し、安全でイメージのよい夜間工事を進めて下さい。

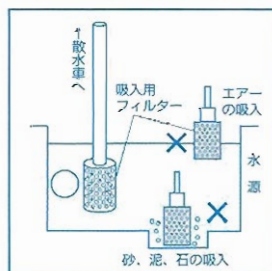


ワンボックスカーのなかで
食事をとっているメンバー



散水車のトラブル防止！～水無しでは、ただの箱！？～

土埃飛散防止に重宝される散水車。しかし、河川等からタンクに水を汲み上げるポンプの使い方を誤ると、肝心なときに水無しで用を足しません。吸水時のトラブル防止を考えてみましょう。



＜吸水しない原因は？＞

ポンプを開始後、1分過ぎても汲み上げられない場合、運転を中止し次の点を点検しましょう。

①吸水用ホース及び取付口金部分

ホースに穴、取付口金が緩んでいたり、バックンが損傷していると汲み上げません。

②ホース先端ストレーナが水面下に沈んでいますか？

ストレーナが水面より出ていると、エア吸いを起こします。水底に着くと泥や石等異物を吸い込むので底より浮かす。(左図)

③バルブの切り替え方向

バルブ方向が排水では吸水しません。取扱説明書や車体表示シールで確認のこと。

④ポンプ部呼び水

呼び水が少ないとエアが噛み吸水しないので補水を。

※一般道路で通常走行時は必ずPTOをOFFにして下さい。油圧系が損傷します。



